

【本号のトピックス】

ワークショップ『高齢者の口腔機能低下を病名にできるか』報告／ 歯科衛生士関連委員会セミナーのご案内

一般社団法人日本老年歯科医学会 平成 25 年度 ワークショップ 『高齢者の口腔機能低下を病名にできるか』報告

平成 25 年 10 月 26 日(土)・27 日(日)、東京・池袋の東京セミナー学院において、平成 25 年度ワークショップ「高齢者の口腔機能低下を病名にできるか」が開催された。

ディレクターは森戸光彦理事長がつとめ、コ・ディレクターに山根源之常任理事、タスクフォースとして櫻井 薫、羽村 章、下山和弘の3名の常任理事がワークショップの運営と進行を行った。また、オブザーバーとして石井拓男(日本歯科総合研究機構)、菊谷 武(日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック)、住友雅人(日本歯科医学会会長)、高田淳子(厚生労働省医政局歯科保健課)、武井典子(日本歯科衛生士会副会長)、水口俊介(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科高齢者歯科学分野)の各氏が参加した。

ワークショップの GIO は「要介護高齢者に高頻度に出現する口腔機能低下に対する的確な歯科医療の介入を行うために、医療・介護・福祉を担う人材が共通して理解できる病名を提案する」とし、森戸理事長の挨拶と基調講演のあと、参加者 18 名が 3 班に分かれて、3つのセッション「高齢者の口腔機能低下に病名を付与するために、必要な事項や解決しなければいけない問題点」、「病名策定のために必要な事項を実行するために、その方略を考える」「口腔機能低下の病名に対する、診査方法、診断基準、治療方法、再評価方法の提案」について発表と活発な討論が行われた。26日は翌日提出のプロダクトの作成のため、各班にて深夜まで活発な討議が行われた。



ワークショップ意見交換会時の集合写真



ディレクター、コ・ディレクター、タスクフォース、オブザーバーの先生方



各班での活発なディスカッション



全体発表と活発なディスカッション

高齢者歯科医療の現場にすでに起きている諸問題に対して対応を求めるための新病名と、高齢者歯科医療の将来に向けて広く適用出来る新病名作成についての議論が行われ、A班は「口腔機能不全症」を提案し、議論の中で「口腔機能低下症」の方がよいのではとの意見があった。B班は「Oral Frailty Syndrome (OFS)」を挙げ、日本語として「口腔老化症候群」、「口腔機能低下症候群」を提案した。老年医学分野で使用し始めている Frailty Syndrome と関連したもので、英文名は俗称としても通じるものである。C班は「要介護性口腔症候群」

を提案した。これは高齢者全体でなく介護状態になった人達の口腔状態を表したものである。しかし、介護保険に包括される部分や、要介護認定と本症候群患者との関係についても議論が必要である。



ワークショップの詳細な内容については、学会ホームページで全文公開されている正式な報告書をご覧頂きたいが、高齢者歯科医療の現場ですでに起きている諸問題と、高齢者歯科医療の将来に向けての議論の下地

が固められたことは間違いない。これを基礎として、本学会のさらなる発展が期待されるものと思われる。

(文責 平野浩彦, 高橋一也, 渡邊 裕)



A 班のメンバー



B 班のメンバー



C 班のメンバー

〈ワークショップ参加者〉

班	氏名	所属
A 班	池邊一典	(大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座)
	柿木保明	(九州歯科大学学生体機能制御学講座老年障害者歯科学分野)
	田村文誉	(日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック)
	津賀一弘	(広島大学大学院医歯薬保健学研究院応用生命科学部門先端歯科補綴学研究室)
	平野浩彦	(東京都健康長寿医療センター研究所)
	山本 健	(鶴見大学歯学部高齢者歯科学講座)
B 班	岩佐康行	(原土井病院歯科)
	上田貴之	(東京歯科大学有床義歯補綴学講座)
	川良美佐雄	(日本大学松戸歯学部顎口腔機能治療学講座)
	佐藤裕二	(昭和大学歯学部高齢者歯科学講座)
	松尾浩一郎	(藤田保健衛生大学医学部歯科)
	吉田光由	(広島市総合リハビリテーションセンター)
C 班	小野高裕	(大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座)
	菅 武雄	(鶴見大学歯学部高齢者歯科学講座)
	高橋一也	(大阪歯科大学高齢者歯科学講座)
	竹内一夫	(愛知学院大学歯学部高齢者歯科学講座)
	戸原 玄	(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科高齢者歯科学分野)
	渡邊 裕	(国立長寿医療研究センター)



(五十音順, 敬称略)

歯科衛生士関連委員会主催認定 研修セミナーのご案内

歯科衛生士関連委員会

日 時：平成 26 年 2 月 22 日（土）
13:30～16:30（13:00 受付開始）
会 場：東京歯科大学市川総合病院講堂（2F）
対 象：日本老年歯科医学会認定歯科衛生士
（定員 30 名）
会 費：3,000 円

*日本歯科衛生士会の認定研修ポイント
（申請中）

テーマ：知っておきたい口腔管理の基礎知識
～早くみつけて連携するための診かた～

【プログラム概要】

13:00 受付開始

13:30～13:35（5 分）挨拶

藤平弘子（委員会・コーディネーター、東京
歯科大学市川総合病院 歯科・口腔外科）

13:35～14:15（40 分）

講義①：「在宅での口腔の診かた」

山根源之（東京歯科大学 名誉教授）

14:20～14:50（30 分）

講義②：「加齢に伴うバイタルサインの変化」

片倉 朗（東京歯科大学オーラルメディ
シン・口腔外科学講座教授）

14:50～15:10（20 分）休憩と移動

15:10～16:20（70 分）実習：

①モニタリング・口腔内診査（相互実習）

②静脈確保のデモ（模型上）

16:20～16:30（10 分）まとめ：藤平弘子

★当日各自ペンライト（口腔観察に用います）と
歯間ブラシ（太めのもの、試料採取用）をご
持参ください。

★参加証はセミナー終了後に配布いたします。

【お問い合わせ】

一般社団法人 日本老年歯科医学会
歯科衛生士関連委員会 委員長 山根 瞳
アポロ歯科衛生士専門学校
〒164-0002 東京都中野区上高田 4-15-4
TEL:03-3385-0814 FAX:03-3385-0833
E-mail: yamane@apollogakuen.ac.jp



編集後記

今回のニュースレターは、平成25年10月26、27日の2日間
にわたって開催された本学会主催のワークショップの内容を
中心に作成いたしました。この2日間、熱い議論が繰り広げら
れましたが、その雰囲気的一端をお伝えできればと思い、
当日参加した委員一同で報告いたしました。

今後は会員の皆様方の活動報告、当学会各委員会だより
なども加え、内容を充実させて参りたいと思います。依頼が
舞い込んだ際には、是非ご協力いただけましたら幸甚で
ございます。

これからも会員の皆様に、有益な情報を提供して参りたいと

思いますので、引き続きニュースレターを
宜しくお願い申し上げます。

（平野浩彦）



発行人 森戸光彦

編 集 日本老年歯科医学会広報・研修委員会

事務局 〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9
駒込TSビル402（一財）口腔保健協会内

電 話 03-3947-8894 FAX 03-3947-8341